



不育症について

不育症とは、妊娠に至っても流産や死産を繰り返して生児を得られない状態のことを言います。原因は様々あり、胎児の染色体に異常があることや母体側の血液凝固や抗リン脂質抗体に異常があることなど、まだ不明な点が多いと言われています。リスク因子を検査し、治療することで改善する可能性があります。検査内容は凝固系因子や甲状腺検査、糖尿病や膠原病の検査、感染症検査などです。

	検査項目
凝固系	末梢血
	PT
	APTT
	フィブリンゲン
	ループ スパンチコアグ ラント
	抗カルジオリピンβ II IgG、IgM
	抗カルジオリピンIgG、IgM
	第XII因子活性
	抗PE抗体IgG、IgM
	プロテインC活性
	プロテインS活性
	AT-III
甲状腺	FT3、FT4、TSH
	抗TPO抗体、サイログロブリン抗体
糖尿病	OGTT
	ヘモグロビンA1c
膠原病	抗核抗体
	抗DNA抗体
感染症	RPR
	TPHA
	クラミジア抗体IgG、IgM
	トキソプラズマ抗体IgG、IgM
ホルモン	プロラクチン
免疫系	NK細胞活性
	Th1/Th2
	Treg
	Th17
その他	染色体検査
	Vit.D

予約

- 検査は完全予約制です。受診時にご相談ください。
- 月・火・水・金曜日の午前中でのみの検査となります。
- 染色体検査をする場合、男性側の採血も必要になります。

治療

検査項目	治療
凝固系	妊娠したら低用量バファリンを内服します。
甲状腺	専門の医師と連携をとりながら、採血結果により甲状腺治療薬などを使用します。
糖尿病	メトホルミン（インスリン抵抗性改善薬）を内服します。
感染症	抗生剤を内服します。
プロラクチン	プロラクチン値を低下させる薬を内服します。
免疫系	採血結果により、妊娠したらタクロリムス（免疫抑制剤）を内服します。
ビタミンD	サプリメントの内服と食事内容の改善
染色体検査	染色体そのものの治療はありません。

ご不明な点がございましたら、
医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団 守巧会

矢内原ウイメンズクリニック